



中小企業景況レポート

No.10 中栄信用金庫 地域支援部

平成 26 年 1 月～3 月実績と平成 26 年 4 月～6 月見込み

◆調査概要

調査時期 平成 26 年 3 月上旬
調査地域 秦野市、伊勢原市、平塚市、厚木市、開成町
調査企業数 308 社
回答企業数 303 社

【調査先及び回答状況】

	調査先	回答数	回答率
製造業	86	81	94.1
卸売業	21	21	100.0
小売・飲食業	62	62	100.0
サービス業	43	43	100.0
建設業	53	53	100.0
不動産業	43	43	100.0
合 計	308	303	98.3

◆1 月～3 月期の概況

～業況横這いも、消費増税による先行きへの警戒感強まる～

当金庫主要営業地区内における中小企業を対象に景気動向調査を実施した結果、全業種総合の業況判断 D.I. は▲2.0 を示し、前回調査（平成 25 年 10 月～12 月期）に比べ 0.6 ポイントの悪化となりました。前回は、製造業や建設業を中心とした景気回復の持ち直しにより、調査以来最も高い値の▲1.4 となったものの、季節需要による反動減や 2 週連続の大雪の影響、戸建住宅等の駆け込み需要に落ち着きが見られることから、売上・収益 D.I. が悪化し、資金繰りは 1.8 ポイント悪化の▲19.5 となっております。また一部では、企業業績の回復や競争力の強化から、設備投資を検討する企業が徐々に増加するものの、特別調査においては、人件費や原材料価格上昇分の価格転嫁について、4 割の企業が同業他社との競争激化や顧客・販売先に受け入れられず、ここ 1 年以内に価格を改定していないと回答していることに加え、消費増税の影響により、4 割の企業が売上の減少を予想しており、今後の厳しい収益環境の予想を織り込んだ景況感となっております。

項目別にみると、売上実績 D.I. は前回調査比 11.6 ポイント悪化の▲1.3、収益実績 D.I. は前回調査比 7.3 ポイント悪化の▲5.0 となっております。また、仕入価格 D.I. は 5.0 ポイント上昇感が弱まり 29.1、資金繰りは 1.8 ポイント悪化の▲19.5、人手不足については、2.5 ポイント不足感が強まり▲27.4 となっております。

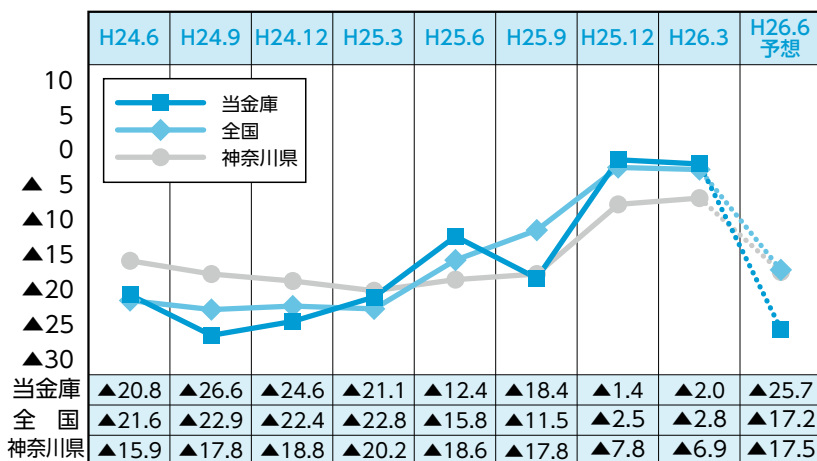
また、業種別の景況感は、業種間でばらつきがみられ、卸売業が 19.1 ポイント改善の 0.0、サービス業が 9.4 ポイント改善の 7.0、建設業が 6.9 ポイント改善の 31.4、製造業が 4.2 ポイント改善の 13.8、小売・飲食業が 11.4 ポイント悪化の▲41.9、不動産業が 18.6 ポイント悪化の▲23.2 となっております。（業種別の詳細については、次頁以降をご参照ください。）

なお、全国の中小企業の業況判断 D.I. は、前回調査から 0.3 ポイント悪化の▲2.8、神奈川県内は、0.9 ポイント改善の▲6.9 となっております。（全国と神奈川県の D.I. 値については、信金中央金庫による調査に基づいております。以下同様。）

◆4 月～6 月期の見通し

来期の業況判断予想は 23.7 ポイント悪化の▲25.7、売上額 D.I. は 20.4 ポイント悪化の▲21.7、収益 D.I. は 20.0 ポイント悪化の▲25.0 の予想となり、業種別では、不動産業以外の 5 業種で悪化の見込みと、先行きへの警戒感が強まっております。

業況判断 D.I. 値（全業種）



全国、神奈川県の業況判断 D.I. 値は、信金中央金庫 地域・中小企業研究所が全国約 16,000（うち神奈川県 約 480）の中小企業を対象に実施している「全国中小企業景気動向調査」の調査データに基づいております。

D.I. 値とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「良い」「やや良い」と回答した企業の割合から、「悪い」「やや悪い」と回答した企業の割合を引いた値です。値が小さいほど業況判断は悪いということになります。

業種別景気天気図

	前 期	今 期	予 想
総 合			
製 造 業			
卸 売 業			
小売・飲食業			
サービス業			
建 設 業			
不 動 産 業			

※この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました。

好調 ← → 低調
良い 悪い

製造業

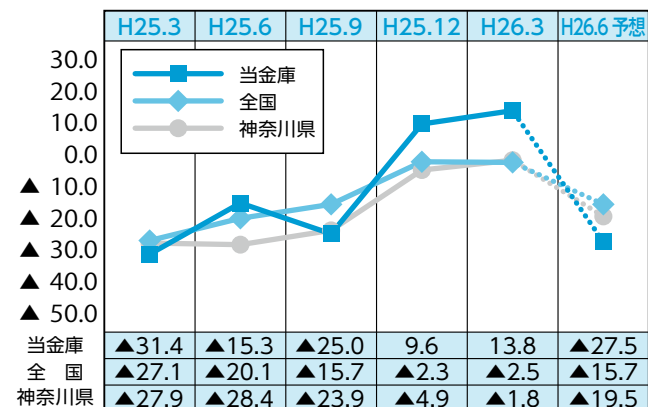
概況

製造業の業況判断D.I.は前回調査比4.2ポイント改善の13.8と2期連続の改善となりました。項目別では、売上額D.I.は14.1ポイント悪化の12.4、収益D.I.は0.9ポイント悪化の11.1となっております。期末における大手企業の在庫・生産調整に伴う受注の減少により、売上・収益D.I.は前回を上回る程の改善には至らなかったものの、新規先からの受注獲得の動きや消費増税前の駆け込み需要による受注量の増加の声もあることから、売上・収益共にプラス域を維持しており、国の補助金を活用した設備投資を検討する企業も見受けられます。

なお、全国は0.2ポイント悪化の▲2.5となっており、神奈川県は3.1ポイント改善の▲1.8となっております。

来期の予想業況判断については、駆け込み需要の反動減や原材料高を懸念する企業が多く、景気回復のペースが鈍ることも予想され、41.3ポイント大幅悪化の▲27.5となっております。

業況判断D.I.値



売上額

前期実績	44.5	37.5	18.0	D.I. 26.5
当期実績	37.0	38.4	24.6	12.4
来期予想	13.5	47.0	39.5	▲26.0
前年同期比	41.9	28.5	29.6	12.3

販売価格

前期実績	4.8	86.8	8.4	D.I. ▲3.6
当期実績	4.9	89.0	6.1	▲1.2
来期予想	3.7	91.4	4.9	▲1.2

在庫

前期実績	6.0	85.5	8.5	D.I. ▲2.5
当期実績	7.5	87.5	5.0	2.5
来期予想	3.7	93.8	2.5	1.2

人手

前期実績	9.6	65.1	25.3	D.I. ▲15.7
当期実績	10.0	63.8	26.2	▲16.2
来期予想	6.2	78.8	15.0	▲8.8

収益

前期実績	38.5	35.0	26.5	D.I. 12.0
当期実績	33.3	44.5	22.2	11.1
来期予想	13.5	48.3	38.2	▲24.7
前年同期比	35.8	33.4	30.8	5.0

原材料価格

前期実績	34.1	65.9		D.I. 34.1
当期実績	27.1	71.7	1.2	25.9
来期予想	37.0	60.6	2.4	34.6

資金繰り

前期実績	12.0	64.0	24.0	D.I. ▲12.0
当期実績	8.6	65.5	25.9	▲17.3
来期予想	8.6	61.8	29.6	▲21.0

設備状況

前期実績	8.6	80.3	11.1	D.I. ▲2.5
当期実績	4.9	80.3	14.8	▲9.9
来期予想	5.0	81.3	13.7	▲8.7

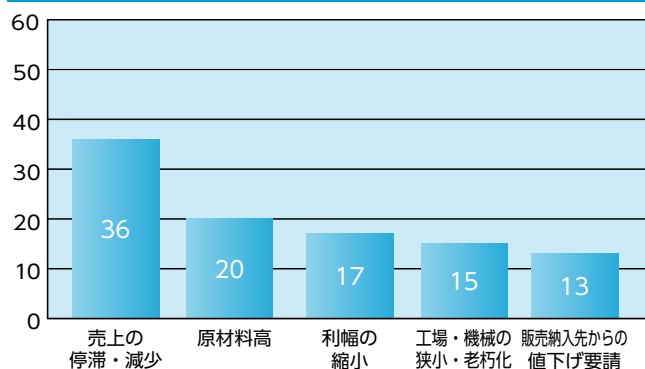
当期実績…26年 1～3月期
来期予想…26年 4～6月期

□ 良い、増加、上昇
過剰、楽

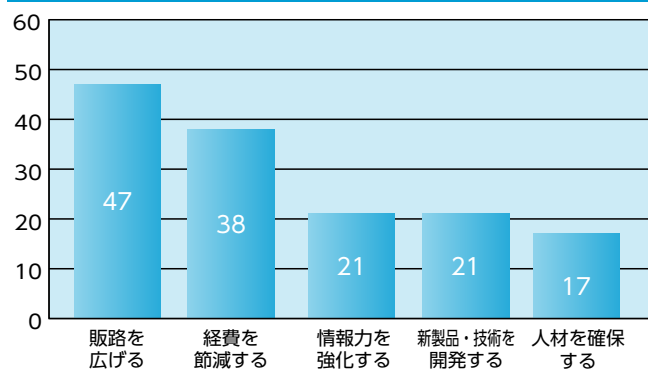
□ 普通、変わらず
適正

□ 悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



卸売業

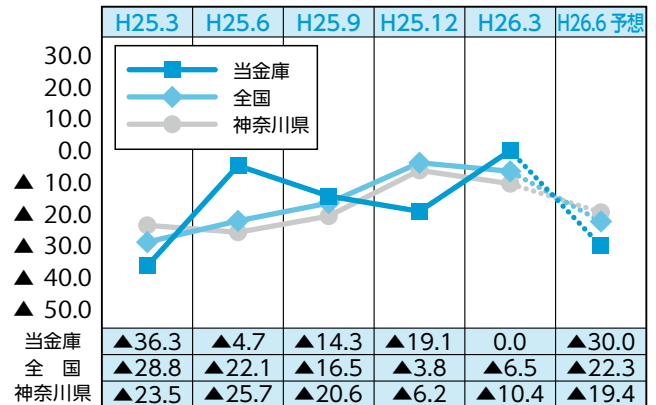
概況

卸売業の業況判断D.I.は前回調査比19.1ポイント改善の0.0となりました。項目別では、売上額D.I.は前回調査比14.3ポイント改善の9.5、収益D.I.は23.8ポイント改善の9.5となっております。一部企業においては、大雪の影響で販売商品が不足したという声が見受けられるものの、建設業の業況改善を受け、建築材料卸売業を中心に業況回復の動きがみられます。また、同業者間の競争激化により、原材料等の仕入価格上昇分の価格転嫁を実施した企業は一部に止まることから、収益確保に向けた取り組みを一段と強化する動きもみられます。

なお、全国は2.7ポイント悪化の▲6.5となっており、神奈川県は4.2ポイント悪化の▲10.4となっております。

来期の予想業況判断は30.0ポイント悪化の▲30.0と大幅悪化が予想されております。

業況判断D.I.値



売上額

前期実績	28.5	38.2	33.3	D.I. ▲4.8
当期実績	33.3	42.9	23.8	9.5
来期予想	15.0	45.0	40.0	▲25.0
前年同期比	28.5	38.2	33.3	▲4.8

販売価格

前期実績	19.0	71.5	9.5	D.I. 9.5
当期実績	15.0	75.0	10.0	5.0
来期予想	15.0	65.0	20.0	▲5.0

在庫

前期実績	14.2	76.3	9.5	D.I. 4.7
当期実績	15.0	80.0	5.0	10.0
来期予想	5.0	85.0	10.0	▲5.0

人手

前期実績	9.5	71.5	19.0	D.I. ▲9.5
当期実績	10.0	55.0	35.0	▲25.0
来期予想	10.0	75.0	15.0	▲5.0

収益

前期実績	19.0	47.7	33.3	D.I. ▲14.3
当期実績	33.3	42.9	23.8	9.5
来期予想	5.0	50.0	45.0	▲40.0
前年同期比	23.8	42.9	33.3	▲9.5

仕入価格

前期実績	33.3	62.0	4.7	D.I. 28.6
当期実績	33.3	62.0	4.7	28.6
来期予想	50.0	40.0	10.0	40.0

資金繰り

前期実績	9.5	52.5	38.0	D.I. ▲28.5
当期実績	14.2	57.3	28.5	▲14.3
来期予想	5.0	60.0	35.0	▲30.0

設備状況

前期実績	4.7	85.8	9.5	D.I. ▲4.8
当期実績	90.0	10.0	10.0	▲10.0
来期予想	90.0	10.0	10.0	▲10.0

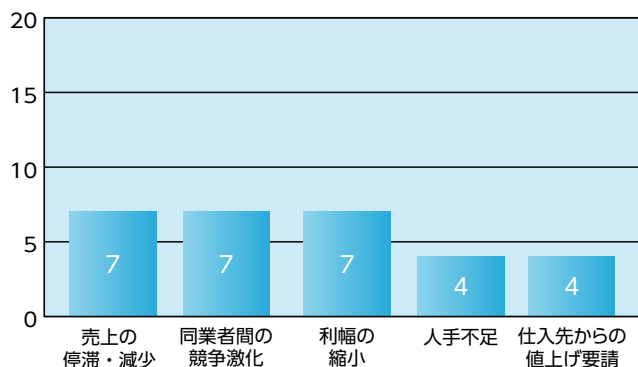
当期実績…26年 1～3月期
来期予想…26年 4～6月期

□ 良い、増加、上昇
過剰、楽

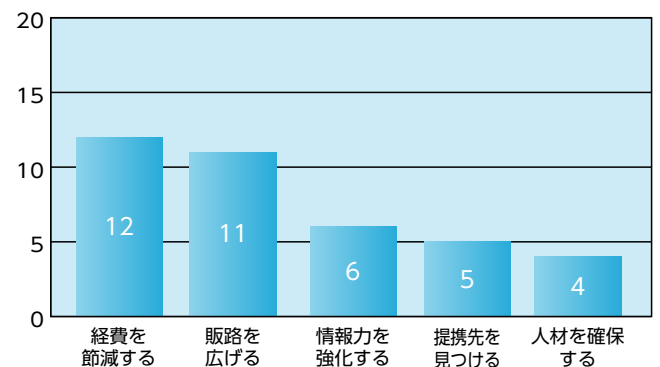
□ 普通、変わらず
適正

□ 悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点（複数回答）



当面の重点経営施策（複数回答）



小売・飲食業

概況

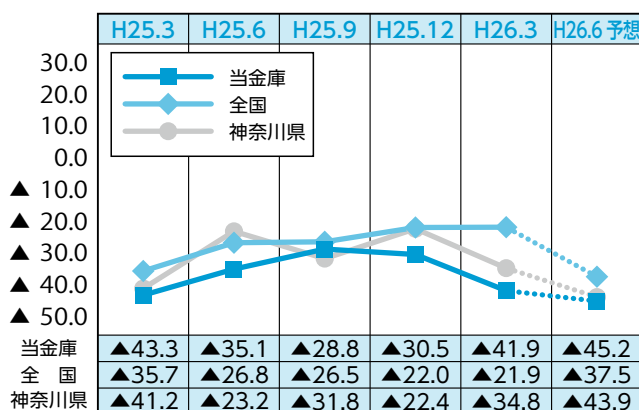
小売・飲食業の業況判断 D.I. は前回調査から 11.4 ポイント悪化の▲41.9 と、6 業種の中で最も悪化の値となりました。

項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 20.9 ポイント悪化の▲24.2、収益 D.I. は 24.1 ポイント悪化の▲29.1 となっております。これは、年末需要の反動減や 2 月の大雪に伴う来店客の減少で売上が伸び悩んだ企業も見受けられることから、資金繰りは 3.8 ポイント悪化の▲36.0 となっております。また一部企業においては、最低賃金引上げなどに伴う人件費の増加や原材料価格上昇分の価格転嫁が進まず、仕入先の見直しによる経費の削減や集客に向けた店舗・設備の改装を検討する企業が増加しております。

なお、全国は 0.1 ポイント改善の▲21.9 となっており、神奈川県は 12.4 ポイント悪化の▲34.8 となっております。

来期の予想業況判断は▲45.2 と 3.3 ポイントの悪化が予想されております。

業況判断 D.I. 値



売上額

前期実績	32.2	32.3	35.5	D.I. ▲3.3
当期実績	16.1	43.6	40.3	▲24.2
来期予想	9.6	45.3	45.1	▲35.5
前年同期比	22.5	38.8	38.7	▲16.2

販売価格

前期実績	16.9	76.4	6.7	D.I. 10.2
当期実績	19.3	69.5	11.2	8.1
来期予想	27.4	61.4	11.2	16.2

在庫

前期実績	22.0	69.6	8.4	D.I. 13.6
当期実績	22.5	67.9	9.6	12.9
来期予想	11.2	77.6	11.2	0.0

人手

前期実績	8.7	61.5	29.8	D.I. ▲21.1
当期実績	4.8	63.0	32.2	▲27.4
来期予想	8.1	62.4	29.5	▲21.4

収益

前期実績	28.8	37.4	33.8	D.I. ▲5.0
当期実績	9.6	51.7	38.7	▲29.1
来期予想	8.0	51.7	40.3	▲32.3
前年同期比	9.6	56.6	33.8	▲24.2

仕入価格

前期実績	38.9	57.8	3.3	D.I. 35.6
当期実績	33.8	61.4	4.8	29.0
来期予想	43.5	50.1	6.4	37.1

資金繰り

前期実績	6.7	54.4	38.9	D.I. ▲32.2
当期実績	4.9	54.2	40.9	▲36.0
来期予想	6.4	56.6	37.0	▲30.6

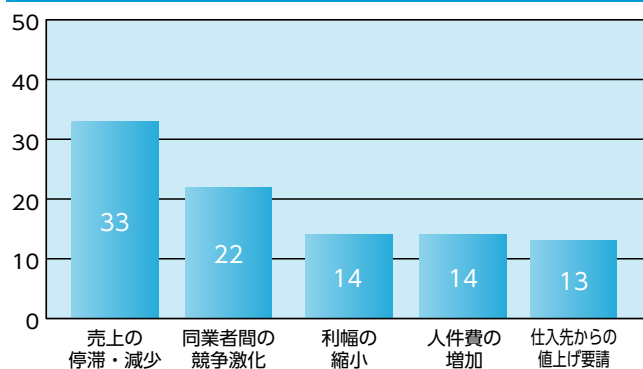
設備状況

前期実績	7.0	79.0	14.0	D.I. ▲7.0
当期実績	83.7	16.3	▲16.3	
来期予想	83.4	16.6	▲16.6	

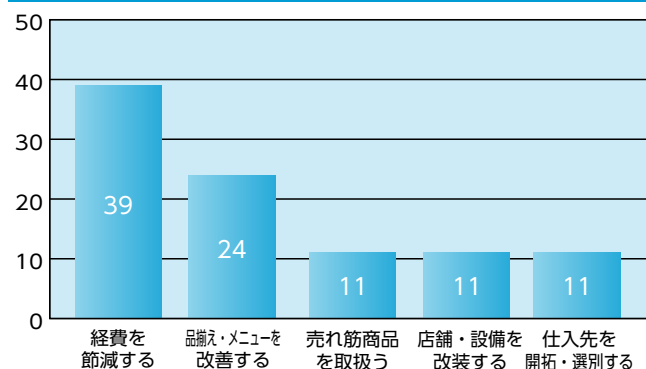
当期実績…26年 1～3 月期
来期予想…26年 4～6 月期

□ 良い、増加、上昇、過剰、楽 □ 普通、変わらず、適正 □ 悪い、減少、下降、不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



サービス業

概況

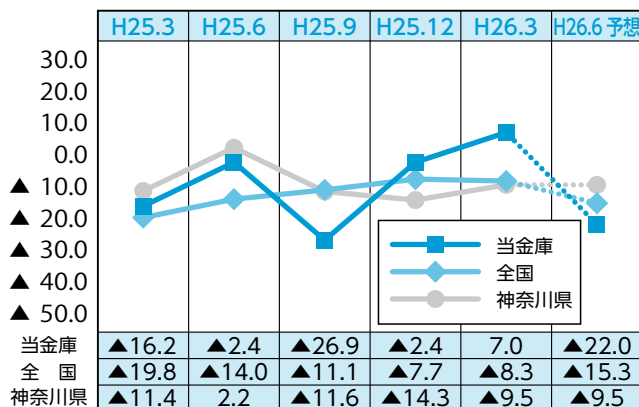
サービス業の業況判断D.I.は前回調査比9.4ポイント改善の7.0となりました。

項目別では、売上額D.I.は前回調査比23.4ポイント悪化の▲18.6、収益D.I.は18.8ポイント悪化の▲14.0、資金繰りは1.7ポイント悪化の▲30.2となっております。秋の観光関連や年末需要の反動減、記録的な大雪の影響による売上減少に加え、約3割の企業が光熱費や原材料価格の上昇を経営上の問題点として挙げていることから、依然として収益環境は厳しい状況となっております。また一部では、イベントやキャンペーン等の企画により、集客を図る動きや新しい事業を今後の重点経営施策とする企業も見受けられます。

なお、全国は0.6ポイント悪化の▲8.3となっており、神奈川県は4.8ポイント改善の▲9.5となっております。

来期の予想業況判断は29.0ポイント悪化の▲22.0と予想されております。

業況判断D.I.値



売上額

前期実績	30.9	43.0	26.1	D.I. 4.8
当期実績	25.5	30.4	44.1	▲18.6
来期予想	26.8	36.7	36.5	▲9.7
前年同期比	30.9	33.4	35.7	▲4.8

料金価格

前期実績	4.7	83.4	11.9	D.I. ▲7.2
当期実績	4.6	93.1	2.3	2.3
来期予想	14.6	80.6	4.8	9.8

資金繰り

前期実績	9.5	52.5	38.0	D.I. ▲28.5
当期実績	9.3	51.2	39.5	▲30.2
来期予想	7.3	53.7	39.0	▲31.7

設備状況

前期実績	2.3	78.7	19.0	D.I. ▲16.7
当期実績	2.3	76.8	20.9	▲18.6
来期予想	4.8	78.2	17.0	▲12.2

収益

前期実績	30.9	43.0	26.1	D.I. 4.8
当期実績	25.5	35.0	39.5	▲14.0
来期予想	26.8	34.2	39.0	▲12.2
前年同期比	26.1	35.9	38.0	▲11.9

材料価格

前期実績	33.3	64.4	2.3	D.I. 31.0
当期実績	25.5	74.5		25.5
来期予想	43.9	56.1		43.9

人手

前期実績	4.7	66.8	28.5	D.I. ▲23.8
当期実績	9.5	59.6	30.9	▲21.4
来期予想	12.5	62.5	25.0	▲12.5

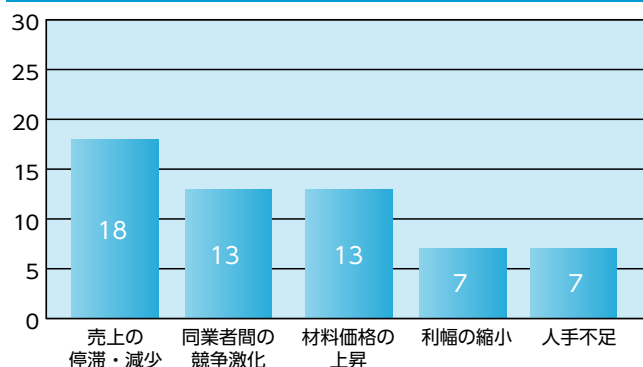
当期実績…26年 1～3月期
来期予想…26年 4～6月期

□ 良い、増加、上昇
過剰、楽

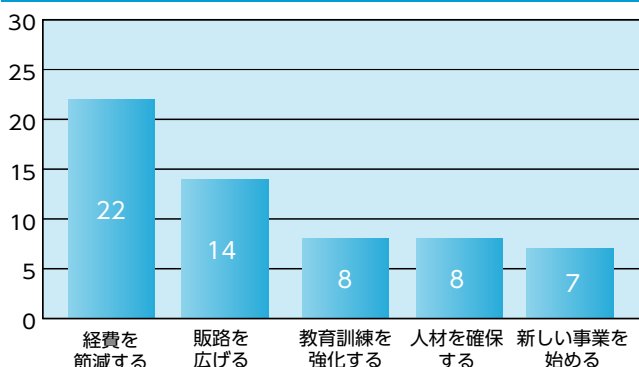
□ 普通、変わらず
適正

□ 悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点（複数回答）



当面の重点経営施策（複数回答）



建設業

概況

建設業の業況判断D.I.は前回調査比6.9ポイント改善の31.4となりました。

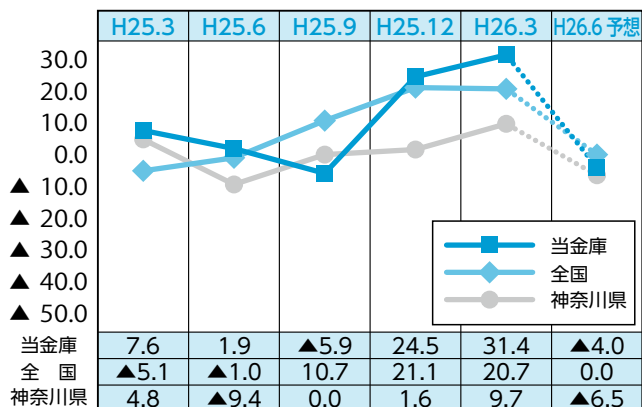
項目別では、売上額D.I.は前回調査比から9.5ポイント悪化の22.6、収益D.I.は3.8ポイント悪化の5.7となっております。

公共工事や民間工事の駆け込み需要による発注量の増加から、採算性を踏まえた工事の選別受注を行える企業もあり、業況判断は調査以来最も高い値となっております。このような中、材料費の高騰や外注先、人手不足に伴う人件費の増加に加え、大雪の影響による工期の遅れから、入金にズレが生じ、今後の資金繰りを懸念する声も見受けられます。

なお、全国は0.4ポイント悪化の20.7となっており、神奈川県は8.1ポイント改善の9.7となっております。

来期の予想業況判断は▲4.0となり、35.4ポイントの大幅悪化が予想されております。

業況判断D.I.値



売上額

前期実績	49.0	34.1	16.9	D.I. 32.1
当期実績	43.3	36.0	20.7	22.6
来期予想	20.7	39.7	39.6	▲18.9
前年同期比	50.9	32.2	16.9	34.0

請負価格

前期実績	28.3	62.3	9.4	D.I. 18.9
当期実績	22.6	62.4	15.0	7.6
来期予想	16.9	60.5	22.6	▲5.7

在庫

前期実績	3.7	88.8	7.5	D.I. ▲3.8
当期実績	1.8	90.7	7.5	▲5.7
来期予想	88.7	11.3	▲11.3	

人手

前期実績	1.8	49.2	49.0	D.I. ▲47.2
当期実績	1.9	48.1	50.0	▲48.1
来期予想	3.9	58.9	37.2	▲33.3

収益

前期実績	28.3	52.9	18.8	D.I. 9.5
当期実績	26.4	52.9	20.7	5.7
来期予想	11.3	51.0	37.7	▲26.4
前年同期比	43.3	36.0	20.7	22.6

材料価格

前期実績	58.4	39.8	1.8	D.I. 56.6
当期実績	54.7	43.5	1.8	52.9
来期予想	56.6	34.0	9.4	47.2

資金繰り

前期実績	20.7	49.2	30.1	D.I. ▲9.4
当期実績	13.2	66.1	20.7	▲7.5
来期予想	5.6	62.4	32.0	▲26.4

設備状況

前期実績	90.6	9.4	D.I. ▲9.4
当期実績	1.9	86.4	11.7 ▲9.8
来期予想	87.8	12.2	▲12.2

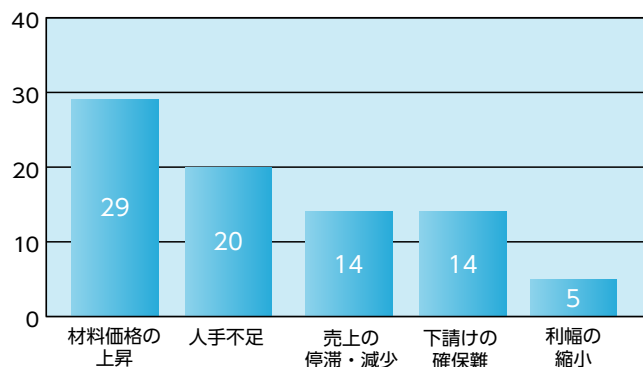
当期実績…26年 1～3月期
来期予想…26年 4～6月期

□ 良い、増加、上昇
過剰、楽

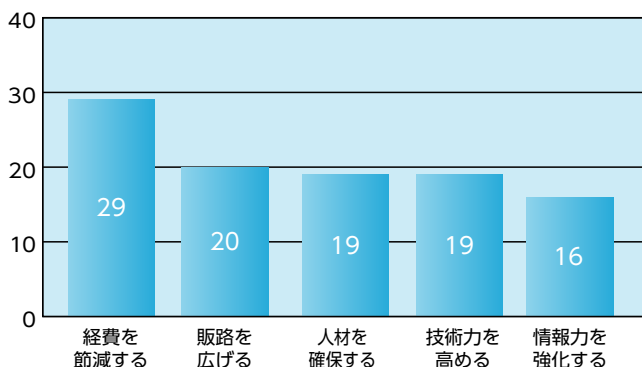
□ 普通、変わらず
適正

□ 悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



不動産業

概況

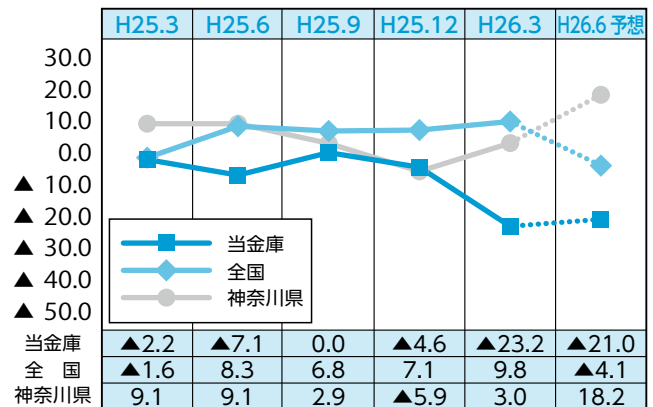
不動産業の業況判断 D.I. は前回調査比 18.6 ポイント悪化の▲23.2 となりました。

項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 4.6 ポイント改善の▲11.7、収益 D.I. は 2.3 ポイント悪化の▲11.6、資金繰りは 4.6 ポイント悪化の▲7.0 となっております。秦野・伊勢原地区を中心に、半数の企業が商品物件の不足を経営上の問題点としており、在庫不足から販売に影響がでているとする企業がみられます。また増税後の消費の落ち込みを懸念する声が多く見受けられる中、政府による住宅取得支援政策や住宅ローン減税拡充などの消費増税に伴う負担軽減策が期待されております。

なお、全国は 2.7 ポイント改善の 9.8 となっており、神奈川県は 8.9 ポイント改善の 3.0 となっております。

来期の予想業況判断は、2.2 ポイント改善の▲21.0 と予想されております。

業況判断 D.I. 値



売上額

前期実績	20.9	41.9	37.2	D.I. ▲16.3
当期実績	16.2	55.9	27.9	▲11.7
来期予想	16.2	60.6	23.2	▲7.0
前年同期比	23.2	35.0	41.8	▲18.6

販売価格

前期実績	-2.3	71.6	26.1	D.I. ▲23.8
当期実績	-2.3	76.8	20.9	▲18.6
来期予想	-4.6	81.5	13.9	▲9.3

在庫

前期実績	16.6	31.1	52.3	D.I. ▲35.7
当期実績	-4.6	42.0	53.4	▲48.8
来期予想	-4.6	44.3	51.1	▲46.5

人手

前期実績	-2.3	66.8	30.9	▲28.6
当期実績	-2.3	65.2	32.5	▲30.2
来期予想	-2.3	72.2	25.5	▲23.2

収益

前期実績	25.5	39.7	34.8	D.I. ▲9.3
当期実績	18.6	51.2	30.2	▲11.6
来期予想	9.3	62.8	27.9	▲18.6
前年同期比	20.9	41.9	37.2	▲16.3

仕入価格

前期実績	16.6	76.3	7.1	D.I. 9.5
当期実績	21.4	66.7	11.9	9.5
来期予想	16.2	74.5	9.3	6.9

資金繰り

前期実績	-9.5	78.6	11.9	D.I. ▲2.4
当期実績	-6.9	79.2	13.9	▲7.0
来期予想	-6.9	81.5	11.6	▲4.7

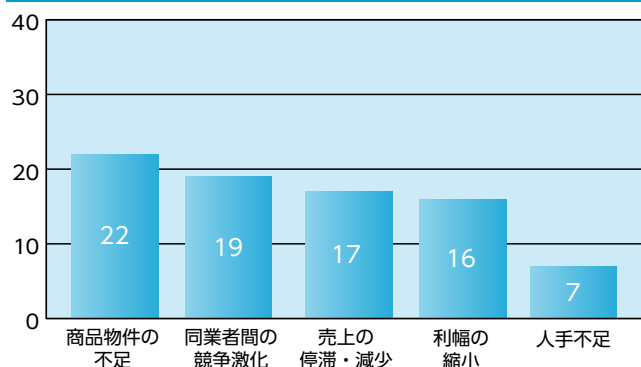
当期実績…26年 1～3 月期
来期予想…26年 4～6 月期

□ 良い、増加、上昇
過剰、楽

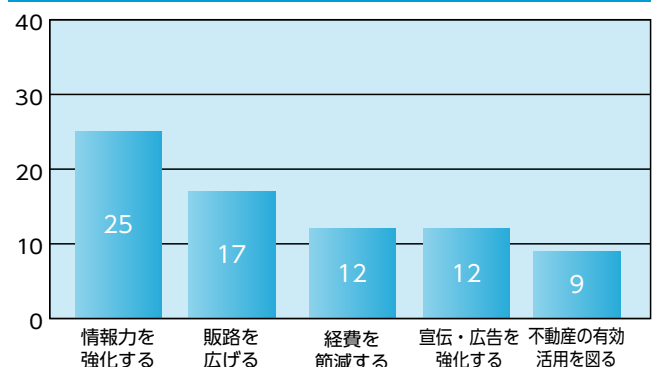
□ 普通、変わらず
適正

□ 悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



当金庫のお客様 308 社にお願いして特別調査を実施いたしました。

問 1. 今年（2014 年）4 月からの消費税率引上げ（5% → 8%）について、貴社では、販売価格にどの程度反映（転嫁）できていると考えていますか。

- | | |
|------------------------------|------------------------------|
| 1. 全て反映（転嫁）できる …………… 109 社 | 3. まったく反映（転嫁）できない …………… 24 社 |
| 2. 一部の反映（転嫁）にとどまる …………… 91 社 | 4. わからない …………… 78 社 |

問 2. 今年（2014 年）4 月からの消費税率引上げ（5% → 8%）は、当面の貴社の売上げに対し、どのような影響を与えると見込まれますか。

- | | |
|---------------------------------|---------------------------|
| 1. 今年 4 月末ごろまで減少する …………… 13 社 | 6. どちらともいえない …………… 93 社 |
| 2. 今年 6 月末ごろまで減少する …………… 54 社 | 7. 影響はない・変わらない …………… 37 社 |
| 3. 今年 9 月末ごろまで減少する …………… 33 社 | 8. むしろ増加する …………… 0 社 |
| 4. 今年 12 月末ごろまで減少する …………… 11 社 | 9. わからない …………… 44 社 |
| 5. 来年（2015 年）以降も減少する …………… 17 社 | 0. その他 …………… 0 社 |

問 3. 今年（2014 年）4 月からの消費税率引上げ（5% → 8%）後の収益を確保するために、貴社ではどのような対策を考えていますか。

- | | |
|-----------------------------------|--------------------------------|
| 1 位 いっそうの経費削減につとめる …………… 125 社 | 6 位 販売価格を全面的に引き上げる …………… 43 社 |
| 2 位 これまでと変わらない …………… 86 社 | 7 位 新しい仕入先を検討する …………… 36 社 |
| 3 位 仕入価格の上昇を抑える …………… 84 社 | 8 位 駆け込み需要の平準化につとめる …………… 29 社 |
| 4 位 販売価格を個別品目・区分ごとに見直す …………… 70 社 | 9 位 新事業・分野への進出を検討する …………… 23 社 |
| 5 位 現状の業容を拡大する …………… 48 社 | 10 位 その他 …………… 1 社 |

問 4. 貴社では、アベノミクスの流れの中で、今春、賃金を引き上げましたか。

・賃金を引き上げた理由

- | |
|------------------------------|
| 1 位 従業員の処遇改善 …………… 35 社 |
| 2 位 自社の業績改善を反映 …………… 11 社 |
| 3 位 その他 …………… 5 社 |
| 4 位 人手不足を背景とした賃金上昇 …………… 4 社 |
| 5 位 アベノミクスの流れを踏襲 …………… 3 社 |

・賃金を引き上げていない理由

- | |
|--------------------------------|
| 1 位 当面のところは様子をみている …………… 105 社 |
| 2 位 景気見通しが不透明 …………… 57 社 |
| 3 位 自社の業績低迷 …………… 52 社 |
| 4 位 諸経費増で支払余力なし …………… 20 社 |
| 5 位 その他 …………… 5 社 |

問 5. 最近（ここ 1 年）、貴社では、主な製品・商品・サービスの価格そのものを改定しましたか。

・価格を改定（引上げ）した理由

- | |
|-------------------------|
| 1 位 原材料価格の上昇 …………… 29 社 |
| 2 位 仕入先値上げ要請 …………… 9 社 |
| 3 位 円安傾向の定着 …………… 5 社 |
| 4 位 その他 …………… 4 社 |
| 5 位 人件費上昇 …………… 1 社 |

・価格を改定していない理由

- | |
|--------------------------------|
| 1 位 現状の価格は適正 …………… 102 社 |
| 2 位 競争激化で改定困難 …………… 67 社 |
| 3 位 顧客・販売先に受け入れられない …………… 54 社 |
| 4 位 むしろ価格を引き下げた …………… 12 社 |
| 5 位 その他 …………… 8 社 |

経済産業省より
公募が開始された

ものづくり・商業・サービス補助金のご紹介

【補助金の内容について】

試作品・新商品・新サービスの開発や生産プロセスの改善など革新的なものづくり・サービスの提供にチャレンジする中小企業・小規模事業者の方々にご利用いただける補助金です。

①ものづくり・商業・サービス補助金※公募締切り：H26.5.14（水）

試作品開発に必要な原材料費、機械装置費、人件費等の 3 分の 2 が補助の対象となります。上限額：1,000 万円（特定分野への投資は 1,500 万円）

②新陳代謝型※公募締切り：H26.9.12（金）予算がなくなり次第終了

金融機関から借入を行い、耐用年数が超過した設備を入れ替える大規模投資（総資産の 15% を超える設備投資）を行う場合に、借入額 1% 上限額が補助の対象となります。

○ 3 月 5 日開催 補助金セミナーの様子



【申請について】

こちらの補助金の申請については、認定支援機関のサポートが必要となります。当金庫も認定支援機関となっておりますので、お気軽にご相談ください。

※認定支援機関とは、国の認定を受けた中小企業・小規模事業者にとっての【身近な相談窓口】である公的な支援機関です。